

「KHJ全国大会 in 山形」に参加して

今年は第11回目ですから、発足した当時は毎年行われていたわけではないようです。KHJの家族会が設立されたのは何年か、私もよく承知していません。「KHJ岡山きびの会」は2001年12月16日に発足し、20番目ですから、それよりもっと早いことは確かです。岡山の会も15年経ちましたから、最初の頃は全国大会を開いていなかったようです。第1回がどこでどのように開かれたのか、私もよく承知していません。

しかし今年のテーマは「誰もが希望をもてる社会をめざして」ですから、私たちが「究極のセーフティネットを求めて」という講演会をした精神と同じであり、ようやくみんなで心を合わせる社会の到来を願うことができるようになったこととなります。そして岡山県でも新しい動きが出てきそうな感じになってきました。

全国大会の席上で岡山県も「引きこもり地域支援センター」を開設することになるだろうという情報を初めて知ったのです。大会から帰って早速県に問い合わせましたら、その方向で検討を始めたとの回答でした。どんなセンターにするかは私たちの願いをどの様に伝えるかにかかっています。皆さんどうぞご意見をお寄せください。そしてみんなで県に陳情しましょう!!! (川島炫三)

「にぎわい市」11月20日

(10時～14時 ソシオ一番街で)

前日の準備、当日は朝早くから大変ですが今年もご協力よろしくお願ひします。

(焼きそば、野菜、こんにゃく、バザー、コーヒー……)



サロンでお会いしましょう

美作市 矢田 初枝

今朝(10月12日)は、いきなり秋が来たような時候です。みなさまお元気でしょうか。

昨年、退職を期にKHJ岡山きびの会の役員に加わり、同時に川島会長からのすすめで、津山きびの会へも参加しています。実は夫の実家は美作市にあり、母が亡くなったため夫はこちらへ移っています。私は今まで障害者の相談支援員として、現在も備前市で非常勤で仕事をしています。(岡山の自宅には、一番下の次男がおり)仕事で訪問活動、病院への同行を含めると、一週間で700km以上移動しています。ドラえもんの「どこでもドア」があればいいな。現実にはこの地域には、公的交通機関が不便。心情は、いつでも、どこでも、フットワークよくありたいと思っています。

さてそんななかで、最近しみじみ思うことは「人のあたたかさ」「つながり」「きずな」がいちばんたいせつなことではないかということです。トトロの家にお邪魔すると実家に帰ったような気持ちになる。みんなと一緒に取り組んだ「みそづくり」「手作りぎょうざ」など、「カタクリの花をめぐる会」も素敵でした。今年度は「トトロサロン」として、定期的に計画されています。同じ汗をながす、おいしくいただく、同じ思いを重ねていきたいと思っています。これからもよろしくお願ひします。

